

美術家 奈良美智さん PG 精製技術開発陣

# 創作、研究一筋に

東奥賞贈呈

東奥日報社が文化や産業、学術などの各分野で活躍し、郷土の発展に貢献した個人や団体に贈る「第67回東奥賞」の贈呈式が6日、青森市の青森国際ホテルで開かれた。本年度は弘前市出身で美術家の奈良美智さん(55)、抗炎症・保湿作用などを有する機能性素材「プロテオグリカン」(PG)精

製技術の開発陣(弘前大学、角弘 県産業技術センター)の1個人1団体に東奥賞を贈った。【関連記事22面】

動に広がりを見せている。PG 精製技術開発陣は、県産業技術センター 研究員がPG成分の一部をサケの鼻軟骨中に発見したのをき

に覆い尽くされ、何も無い状態。そこから初めて自分が見えてくるような。厳しいといえば厳しい風土。だが、こつこつ風土がなかったら、自分はいなかった。

カン)が地域のビジネスの開発につながったことは、弘前大学にとっても大きな成果。しかし大学だけではその成果は埋もれていた。角弘や県産業技術センター、県、地域の方々が育ててくれたおかげ。今後も科学的な成果で地域に貢献できることを願っている。

期待に応えたい  
小田桐健蔵さん(角弘社長) PG 配合商品は青森から全国、そして世界へ情報発信し販売されている。弘前大学や県産業技術センター、県の指導に深く感謝している。PGに取り組んで16年。地域に貢献できればと社内一丸で取り組んでいる。今後も期待に沿えるように頑張りたい。

## 受賞者の声

やっぱり古里が好き  
奈良美智さん やっぱり古里が好き、こいつ思いで賞を受けた。親孝行にもなったと思う。きよつこの雪景色は一番思い出に残っている青森の姿。全部が真っ白

科学で地域に貢献  
佐藤敬さん(弘前大学学長) PG(プロテオグリ

PGに一層磨き  
佐藤和雄さん(県産業技術センター理事長) われわれが発見したものはPGの原石。受賞できたのは、原石を磨いて光るようにしていた弘前大学と角弘さんのおかげだ。PGは構造が極めて複雑で、どの

部位にどのような効果があるのか未解明の部分がある。受賞を契機にPGに一層磨きをかけた。

期待に応えたい  
小田桐健蔵さん(角弘社長) PG 配合商品は青森から全国、そして世界へ情報発信し販売されている。弘前大学や県産業技術センター、県の指導に深く感謝している。PGに取り組んで16年。地域に貢献できればと社内一丸で取り組んでいる。今後も期待に沿えるように頑張りたい。



携帯動画  
パッケージ通信費が  
必要です。



東奥日報社が文化や産業、学術などの各分野で活躍し、郷土の発展に貢献した個人や団体に贈る「第67回東奥賞」の贈呈式が6日、青森市の青森国際ホテルで開かれた。本年度は弘前市出身で美術家の奈良美智さん(55)、抗炎症・保湿作用などを有する機能性素材「プロテオグリカン」(PG)精

製技術の開発陣(弘前大学、角弘 県産業技術センター)の1個人1団体に東奥賞を贈った。【関連記事22面】

動に広がりを見せている。PG 精製技術開発陣は、県産業技術センター 研究員がPG成分の一部をサケの鼻軟骨中に発見したのをき

に覆い尽くされ、何も無い状態。そこから初めて自分が見えてくるような。厳しいといえば厳しい風土。だが、こつこつ風土がなかったら、自分はいなかった。

カン)が地域のビジネスの開発につながったことは、弘前大学にとっても大きな成果。しかし大学だけではその成果は埋もれていた。角弘や県産業技術センター、県、地域の方々が育ててくれたおかげ。今後も科学的な成果で地域に貢献できることを願っている。

PGに一層磨き  
佐藤和雄さん(県産業技術センター理事長) われわれが発見したものはPGの原石。受賞できたのは、原石を磨いて光るようにしていた弘前大学と角弘さんのおかげだ。PGは構造が極めて複雑で、どの

部位にどのような効果があるのか未解明の部分がある。受賞を契機にPGに一層磨きをかけた。

東奥日報 平成26年12月7日(日)1面掲載

この画像は当該ページに限って

東奥日報社が利用を許諾したものです。